

1-4 浸水想定区域図について

■ 浸水想定区域図とは

浸水想定区域図では内水氾濫と洪水（外水氾濫）のそれぞれについて、1,000年に一度を上回る雨が降った場合にどれくらいの浸水が発生するかを表示しています。

また、洪水が発生した場合には家屋倒壊や50cm以上の浸水が長時間発生することがありますので、洪水浸水想定区域図に家屋倒壊等氾濫想定区域と浸水継続時間を表示しています。

● 家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域を示しています。

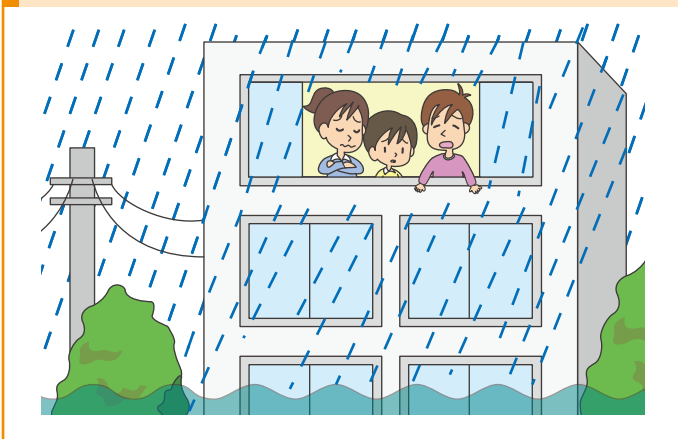
● 浸水継続時間

浸水深が50cm以上になってから50cmを下回るまでの時間を示しています。

■ 浸水継続時間が長い区域について

浸水継続時間が長い区域において、立ち退き避難（※避難場所などへの移動）を行わず自宅の2階など高い建物に退避した場合に以下のような問題が想定されます。そのため、河川の氾濫（洪水）が想定される場合は、速やかな避難行動を心掛けてください。

浸水深が深い場合、長期間孤立する



電気、ガス、水道等のライフラインが停止する



病人が出た場合の対応が困難になる



食料や水の備蓄がなくなり、高層階だと救援物資を受け取る際に労力が必要

